



2023年11月15日第466号
全日本年金者組合京都府本部
〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13
☎ 075-761-3213 FAX 075-761-3214
mail nenkin-kyoto@iaa.itkeeper.ne.jp
発行責任者 山本和夫

今こそ物価高騰に見合う年金支給を

年金支給日宣伝府内各地で

「今日の宣伝は多いね」「年金が上がるように頑張つて」と激励の声

11月21日、府本部としては、久しぶりの「弘法さん宣伝」を26名の参加で実施。高齢者も多く、「年金が上がるように頑張つてください」等の激励もありました。

伏見支部が「むしろ旗」を持参、盛り上げてくれました。26人が参加し、元気に楽しく宣伝行動が行えました。



東寺前で街頭署名宣伝行動26人が参加

「物価に見合う年金の支給を」の課題は、多くの高齢者の切実な思いです。低年金の底上げ、最低保障年金創設を訴える声が入りました。

10・13 四条河原町 ムシロ旗掲げ訴え

エディオン前で実施。むしろ旗掲げ「年金制度の充実」を訴え。当日は、一揆にふさわしく「ムシロ旗」も掲げました。

京都一の繁華街、四条河原町の一角に横断幕を掲げ、登り旗を翻し各支部の代表がかかるがわる「低年金の底上げ」「最低保障年金制度の創設」



京都市政を変えようと訴える栗倉副委員長

四条河原町に集った16人は、英語版「最低保障年金をつくろう」の横断幕を掲げて外国人に訴えながらチラシを配布しました。



年金制度の充実を!

等を訴えました。

京都社保協の松本事務局長は、低い年金の引き上げと賃金の引き上げ、紙の保険証を残せ、医療・介護等社会保障制度の改悪に反対していこうと訴えられました。

栗倉副委員長は、来年2月に行われる京都市長選挙にかわり、現在の門川市政の問題点を指摘され、新しい京都市政に変えようと声を上げられました。

市民本位に京都市政をかえよう

夕映え

10月7日、パレスチナのイスラム組織ハマスがイスラエルに大規模な攻撃を行い1400人が殺害され2400人が人質として拉致された▼これに対して、イスラエルは自衛権の行使と称し、ハマスを壊滅するとして無差別空爆を続けている。パレスチナの死者は8796人▼国連総会は緊急特別会合で人道的休戦決議を121か国の賛成で採択した。しかし、日本政府は「棄権」したという▼日本も戦争する国になろうとしている。世界3位の軍事大国になろうとしている今、私たちは黙ってられない。声を大にして叫びたい▼一時停戦して「話し合い」を第一に出来ないのか「戦争はやめろ」「殺しあいはやめろ」と、叫ぼうではないか▼「おかーちゃん」たすけてーウクライナの子供たちが、パレスチナやイスラエルの子どもたちが叫んでいる▼戦争につながる軍備の拡張に反対しましょう。子どもの人権も大人の人権も大事にされる日本にしましょう。京都の市長選挙はチャンスです。市民を大事にする政治がもつものと広がって優しい世の中になるように頑張ります。私たちは未来の子供たちに平和を伝えたいきましょう。(K・Y)

京都府内の 支給日宣伝報告

近鉄駅前定例宣伝 市民の激励もあり

綴喜支部 高橋幸江支部長

毎月25日(水)は、綴喜支部定例年金宣伝行動日です。10月も25日10時から1時間、近鉄新田辺駅前にて、4名で実施しました。マイクで、物価高にみあう年金引き上げや若い人も安心できる年金制度の実現など訴えながら、署名行動を行いました。

通りかかった低年金の高齢女性は「物価値上がりに加え、電気・ガス代の上昇で、いくら生活をきりつめても大変」と署名して下さいました。また、



近鉄新田辺駅前宣伝署名行動



訴える篠原執行委員

「頑張ってください」「応援しています」と励ましの声をかけてくれた人もいました。

今回は、いつもより少ない参加者でしたが、それでも11筆集まりました。

9号線沿い スーパー前で宣伝

福知山支部 金澤徹副支部長

福知山支部では3年前から年金支給日に30分程度の短時間ですが、商業施設前で年金宣伝を行っています。1〜4人で宣伝していますが、今回は4人でイオン福知山店直ぐの9号線沿いのバス停付近で、幟や横断幕を掲げて行いました。

年金額が安倍政権以降、7%以上上がり続け、最近の物価上昇に追いつかない年金制度問題や年金裁判を闘っていること、毎月1回の年金支給最低保障年金制度の創設などの要求、最近の医療費負担増、

マイナ保険証問題とインボイス問題などを訴えました。訴えに拍手されることもありました。今回は署名やビラ配布は出来ませんでした。買物帰りの車から手を振ったり、会釈をされるなどの激励があり、励まされました。年金制度の充実の一点で団結していきたいと考えています。

イオン前宣伝行動 年金充実を市民と対話

向日支部 北林重男書記長

向日支部は13日の年金支給日宣伝は東向日のイオンフー

憲法集会in円山 府本部署名と宣伝

猿田紗世弁護士講演
「戦争を回避せよ」は圧巻

11・3憲法集会には、1500人が集まり、新外交インシアティ代表の猿田紗世弁護士の話に驚かされました。日本一国では戦争になる理由がないことや「北朝鮮は日本にミサイルを決して撃ち込まな

ド前に6人が参加しました。ハンドマイク宣伝を二人が担当し情勢と組合への加入を訴えました。

そして「難聴者の補聴器購入に係わる公的補助を求めます」の要望署名を4人が担



東向日イオンフード前宣伝行動

当しました。天候も良く、年金者組合のチラシを渡しながら市民の方との対話が弾み、10筆の署名を集めることができました。

い」、台湾有事を回避するためには「安心の供与」が必要で、「台湾の独立は少し先延ばしに」することも必要だとわかりやすい言葉で熱く語られました。

日米間で「事前協議」が必要です。事前協議制度を利用して、今から米国に迫ろうと述べられました。府本部は集会前に「年金宣伝」や「補聴器署名」を取り組みました。

そして、ASEAN(アセアン)のしたたかな外交戦略を例にあげ、二極(米国と中国)対立を避けるため外交による「戦争回避」の努力が必要だと訴えられました。「在日米軍基地に関しては」



秋の仲間増やし

10月、各支部が頑張 り、32人が加入14人 の実増!

東山支部が5人!

東山支部のサークル歩こう会(友の会と共催)に参加された方々5人が加入されました。山科支部も4人!

山科支部では女性執行委員の方が知人に訴え2人、「現勢回復」めざし思い切って訴えた結果、2人の仲間が増えています。

福知山支部は3名増。女性部の企画(毎年開催)の「女性のつどい」を通じ2名が加入されています。

綾部支部では、今後の役員体制を強化しようと訴えを続けられ1人が加入されました。各支部の頑張りで、16支部で成果、32人の仲間が増えました。

執行委員会での経験交流の中で、11月の予約で左京支部3名、長岡京支部2名の仲間が増えていくことも報告されました。常任執行委員会も仲

間増やしの先頭に立ち、11月の飛躍を確認しました。

サークル活動を仲間増やしのきっかけに

東山支部 岡田書記長

10月1日、東山健康友の会と共催で、第1回「歩こう会」を実施しました。

当日は、絶好の歩こう会となりました。地下鉄国際会館から宝ヶ池までのコースを散策しました。健康友の会からも参加があり、笑いの絶えない楽しい時間を過ごしました。

最後に組合側から、是非組合に入って楽しい行事などに



仲間づくり東山支部の歩こう会

も参加してほしいと訴えると、快く受け止めていただき5人の方が仲間になってもらえました。

今後も友の会の皆さんとの交流を大切にしていきたいと思っています。サークルでの楽しい行事で仲間が増える。

これからも組合員以外の方を誘って仲間増やしに力を入れていきます。

物価高騰に見合う年妻給を南区長へ申し入れ

京都南支部 加納孟南支部長

10月12日午前、年金者組合京都南支部として、南区長に對して「物価高騰に見合う年金を支給してください」の申し入れを行った。

申し入れ側は支部長をはじめ5人、区側は保険年金課長と総務・防災課長。申し入れには、組合員でもある井上けんじ前市議も参加しました。

申し入れの要旨は、物価が上がっているのに年金の実質支給額は毎年下がり、安倍政権発足後11年間で実質的には



南区に申し入れる加納孟支部長

7・3%も減額されているとして、「市長を通して政府に要請されたい」と次の3項目の要求(概要)を列挙した。

- ① 新たな年金削減を中止し、物価高騰に見合った年金を支給する。
- ② 年金額引き下げに直結する「マクロ経済スライド」制度を廃止する。
- ③ 最低年金制度の検討を始める。

これに対し区側は「申し入れは市の年金課にお渡しするが、検討する部署ではない。国や国会へ要望してほしい」と述べた。

組合側からは「国へは年金者組合も申し入れるが、区長及び市長に渡してほしい。住民の福祉の増進をはかる地方

自治法の立場から、市としての積極的対応をしてほしい」「女性の年金は凄く低い。こういう状態を区の職員にも知っていただき市へもあげてほしい」と訴えました。

くらしと敬老乗車証の利用アンケート 集約結果報告会

10月28日(土)10時から「くらしと敬老乗車証の利用アンケートの集約結果報告会」が敬老乗車証守ろう!連絡会の主催で、教文センター202号室で開かれました。

長田豊会長の挨拶のあと、宮内事務局長から詳細なアンケート結果の報告、日本共産党とがし豊市会議員から名古屋市での敬老乗車制度の実態などの報告がありました。



アンケート結果報告する宮内事務局長

大きな年金者組合つくろう

要求実現の取り組みと市長選挙

北部高齢者大会を開催して

舞鶴支部 石間正治さん



知山では、陸上自衛隊の射撃場と飛行場跡地などのフィールドワークも行いました。

10月3日に取り組みました「第8回高齢者のくらしを考える北部交流集会」について報告します。北部では、2013年から5支部持ち回りで高齢者集会を開催しています。年金者組合、府職・市職の退職者、新婦人、生健会、協立診療所、退職教職員の会などで実行委員会を作り、準備をしてきました。この間、①「年金と社会保障の問題」②「原発問題」③「戦争法と基地問題」などの分科会で色々な学習を進めてきました。福

コロナで3年間中止にしましたが、今年は丹後の間人でもようやく復活させることができました。今までは、年金者組合の役員を中心に、マイカーで参加することが多かったのですが、今年はずっと参加者の裾野を広げようと考えました。福知山支部は幅広く参加を呼びかけて、マイクロバスで参加し、舞鶴は日帰り旅行とセットにし(宮津の智源寺・小町の里・丹後宇川の立岩)26人が参加して、全体として85名の参加で成功させることができました。

英気を養いました。その後、2つのグループに分かれて動く分科会に出かけました。1つは、古代丹後王国古墳巡りです。大成古墳・竹野神社・神明山古墳を見学し、歴史好きにはこたえられない良い学習ができました。

もう一つは、Xバンドレーダー米軍基地の見学です。現地で、米軍基地を憂う宇川有志の会代表の増田さんと事務局長で市会議員の永井さんの話を聞きました。基地は拡大強化されており、1000キロ先のソフトボールの縫い目を識別できるレーダーは、毎日何処を見ているのでしょうか。日米地位協定に阻まれてもみ消される交通事故の問題や、一旦戦争になれば真っ先に狙われる危険性などについて学びました。

来年は、綾部で開催予定です。

京都高齢者大会開催

高齢者も若者も手をつなぎいのちを守る政治を！

国民のくらし守れ！ 戦争準備でなく平和の準備を！

10月14日、ラポール京都で21世紀/第22回京都高齢者大会が開催されました。

午前中は5つの分科会「第1分科会 戦争国家に未来はなし 憲法を力に立和の構築」・「第2分科会 人生100年時代の「介護」を考えよう」・「第3分科会 健康で文化的な最低限度の生活をくくらせ

る年金、新生存権裁判のこれから」・「第4分科会 いま風井戸端会議く日ごろ思っていることをしゃべりましょう」・「第5分科会 いのち・くらし守る地域と自治体はいま 住み続けられる街をつくるのは住民」に分かれて、みんなで学び・語りあいました。

生活をしくらせる年金、新生存権裁判のこれから」の分科会を担当し、楠副委員長が「年金裁判」の意義と現状、今後の闘いについて報告しました。

午後からは全体集會が開かれ、記念講演は「マスメディアの現状とわたしたち」のテーマで、日比野敏陽さん(京都新聞滋賀本社編集部長、論説委員)元新聞労連委員長がお話されました。各分野からの報告のあと、ひまわり合唱団の合唱、集會宣言を採択し市民パレードが行われました。

京都高齢者大会
いのちを守る政治を
戦争準備でなく平和の準備を！
ラポール京都



大会は30団体と個人の参加で、午前の分科会に150人、午後の全体会に200人(延べ350人)が参加しました。